

潰瘍性大腸炎に合併する大腸癌術後の血清抗p53抗体値を測定する意義

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	潰瘍性大腸炎に合併する大腸癌術後の血清抗p53抗体値を測定する意義
倫理審査受付番号	第3737号
研究期間	2021年 3月倫理審査承認日～2023年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に炎症性腸疾患外科を受診された、潰瘍性大腸炎の方 2014年 1月 1日 ～ 2020年 3月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義) 潰瘍性大腸炎(UC)関連大腸癌は近年増加傾向です。UCに関連した大腸癌では血中抗p53抗体の陽性率が高いといわれてい

ます。手術を受けた患者さんの予後予測因子（術後再発の指標）として、採血で得られる血清抗p53抗体値の測定が有用であるかを調べるのが目的です。術後再発の指標として血清抗p53抗体の測定が有用であれば術後再発の早期発見につながります。

（研究の方法）

2014年1月1日から2020年3月31日の間に、当科にて手術を行ったUC 関連大腸癌症例116例のうち、術前と術後に血清抗p53抗体値を測定している81例を対象とします。術後の再発の有無と血清抗p53抗体値、その他の腫瘍マーカー値(CEA,CA19-9)の推移、年齢、性別、治療歴などの背景を後方視的に検討します。

（個人情報の取扱い）

対象患者の登録は研究用の番号で行い、番号と対象患者の対応表に関しては、施錠可能なロッカーで保管します。

本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患外科 池内 浩基（研究責任者） 皆川 知洋（研究担当者） TEL （平日 9：00～16：45）0798-45-6372 （上記時間以外）0798-45-6111
------------------------	--